

平成29年5月 全国百貨店売上高概況

平成29年6月20日

I. 概況

1. 売上高総額	4,588億円余
2. 前年同月比	0.0% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)
3. 調査対象百貨店	80社 229店 (平成29年4月対比±0店)
4. 総店舗面積	5,733,240㎡ (前年同月比: -4.0%)
5. 総従業員数	72,871人 (前年同月比: -4.5%)
6. 3か月移動平均値 (店舗数調整後)	10-12月 -2.5%、11-1月 -1.8%、12-2月 -1.5%、 1-3月 -1.2%、2-4月 -0.6%、3-5月 -0.1%

[参考] 平成28年5月の売上高増減率は-5.1% (店舗数調整後)

【特徴】

5月の売上高は前年並み(-0.04%)で推移した。円安株高によるストック効果やインバウンドの活況で、基調としては高額商材を中心に増勢を示していたが、前年に比べ日曜日が1日少なかったことから、前年実績には僅かに届かなかった。

インバウンド売上(シェア4.2%)は6か月連続プラス(42.8%増)と引き続き好調であったが、国内市場(シェア95.8%)は1.3%減と、伸び率は前月から1.1ポイントダウンした。

地区別では、大都市(10都市)が、インバウンド効果で5.8%増と高伸した大阪など、4地区(札幌、横浜、大阪、福岡)が対前年増を記録し0.6%増と3か月連続のプラスとなった。一方、地方(10都市以外の地区)は、前月のプラス回復から一転、日曜1日減の影響がそのまま反映する形で、中部・九州地区を除く6地区が前年を割り込み、1.4%のマイナスとなった。

商品別では、主要5品目の内、雑貨(7.0%増)と食料品(0.4%増)が前年を上回った。雑貨は、増勢が続く化粧品(17.1%増)や高額商材(美術・宝飾・貴金属/1.6%増)が牽引し、6か月連続のプラス。食料品は、人気の物産催事やGWの行楽需要、母の日ギフト等が好調に推移し、2か月連続のプラス。一方、衣料品(3.1%減)は、気温上昇で一部夏物の動きが本格化するなど、特に大都市では下げ止まりの傾向も見られたがプラス転換には至らなかった。海外ブランドが好調な身のまわり品(0.3%減)はほぼ前年並み、家庭用品(5.6%減)は苦戦が続いている。

なお、プレミアムフライデーは徐々に浸透してきており、食品・レストランを中心とした限定商品の人気が高まっている。

【要因】

(1) 天候 : 気象庁発表「5月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇南からの暖かい空気が日本付近に流れ込み、全国的に気温はかなり高く、北日本では月平均気温が統計開始以来5月としては最も高温となった。西日本太平洋側では月降水量が多かったが、北日本太平洋側と東日本では晴れた日が多く、降水量は少なかった。また、北日本から西日本日本海側にかけて日照時間は多かった。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比 ±0日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日(" -1日)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数128店舗)

①増加した: 37店、②変化なし: 42店、③減少した: 49店

(5) 5月歳時記(GW、母の日)の売上(同上/有効回答数98店舗)

①増加した: 21店、②変化なし: 55店、③減少した: 22店

全国百貨店 売上高速報 2017年05月

第1表 地区別売上高

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
			※
全 国	458,899,452	100.0	0.0 (-0.9)
10都市	315,324,747	68.7	0.6 (0.4)
札幌	11,849,235	2.6	1.9
仙台	5,591,596	1.2	-0.9 (-9.0)
東京	123,179,140	26.8	-1.1
横浜	27,765,534	6.1	0.1
名古屋	29,019,564	6.3	-0.8
京都	18,727,234	4.1	-0.4
大阪	61,960,537	13.5	5.8
神戸	11,770,246	2.6	-3.2
広島	9,381,574	2.0	-2.1
福岡	16,080,087	3.5	3.1
10都市以外の地区	143,574,705	31.3	-1.4 (-3.6)
北海道	1,262,438	0.3	-10.8 (-42.2)
東北	7,163,807	1.6	-4.9
関東	64,371,929	14.0	-1.7 (-5.4)
中部	11,605,211	2.5	0.9
近畿	19,345,008	4.2	-6.2
中国	10,485,153	2.3	-1.4
四国	7,345,969	1.6	-1.8
九州	21,995,190	4.8	5.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%)
			※
総 額	458,899,452	100.0	0.0 (-0.9)
紳士服・洋品	33,564,357	7.3	-2.0 (-2.6)
婦人服・洋品	93,221,685	20.3	-3.5 (-4.4)
子供服・洋品	12,286,710	2.7	-1.1 (-2.6)
その他衣料品	10,321,958	2.2	-5.4 (-6.1)
衣 料 品	149,394,710	32.6	-3.1 (-4.0)
身のまわり品	62,361,872	13.6	-0.3 (-1.0)
化粧品	41,373,669	9.0	17.1 (16.2)
美術・宝飾・貴金属	26,189,467	5.7	1.6 (0.8)
その他雑貨	17,041,811	3.7	-5.1 (-5.8)
雑 貨	84,604,947	18.4	7.0 (6.2)
家 具	4,695,525	1.0	1.7 (0.9)
家 電	1,064,389	0.2	-16.0 (-16.1)
その他家庭用品	14,147,388	3.1	-6.9 (-7.6)
家 庭 用 品	19,907,302	4.3	-5.6 (-6.2)
生 鮮 食 品	22,815,907	5.0	-2.6 (-3.7)
菓 子	30,160,890	6.6	3.6 (2.7)
惣 菜	27,419,677	6.0	0.3 (-0.2)
その他食料品	33,450,441	7.3	-0.1 (-1.0)
食 料 品	113,846,915	24.8	0.4 (-0.4)
食 堂 喫 茶	13,226,117	2.9	-1.4 (-2.2)
サ ー ビ ス	5,275,345	1.1	0.4 (-1.8)
そ の 他	10,282,244	2.2	1.2 (0.7)
商 品 券	9,824,734	2.1	-3.5 (-4.2)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

1. 10都市売上動向	0.6% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
2. 10都市以外の地区売上動向	-1.4% (店舗数調整後/2か月ぶりマイナス)

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	0.6	0.4	3か月連続プラス
札幌	1.9	0.0	5か月連続プラス
仙台	-0.9	0.0	3か月ぶりマイナス
東京	-1.1	-0.3	10か月連続マイナス
横浜	0.1	0.0	2か月連続プラス
名古屋	-0.8	0.0	2か月連続マイナス
京都	-0.4	0.0	14か月連続マイナス
大阪	5.8	0.7	5か月連続プラス
神戸	-3.2	-0.1	2か月ぶりマイナス
広島	-2.1	0.0	8か月連続マイナス
福岡	3.1	0.1	2か月連続プラス
10都市以外の地区	-1.4	-0.4	2か月ぶりマイナス
北海道	-10.8	0.0	8か月連続マイナス*
東北	-4.9	-0.1	19か月連続マイナス*
関東	-1.7	-0.2	2か月ぶりマイナス
中部	0.9	0.0	2か月連続プラス
近畿	-6.2	-0.3	3か月連続マイナス
中国	-1.4	0.0	2か月ぶりマイナス*
四国	-1.8	0.0	2か月ぶりマイナス
九州	5.2	0.2	2か月連続プラス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目は、雑貨が6か月連続、食料品が2か月連続のプラスとなった。また、衣料品が19か月連続、家庭用品が17か月連続、身のまわり品が2か月ぶりのマイナスとなった。その他の品目は、化粧品が26か月連続、菓子が3か月連続、美術・宝飾・貴金属、惣菜が2か月連続、家具が15か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	-0.0	-	2か月ぶりマイナス
紳士服・洋品	-2.0	-0.1	10か月連続マイナス
婦人服・洋品	-3.5	-0.7	19か月連続マイナス
子供服・洋品	-1.1	0.0	2か月ぶりマイナス
その他衣料品	-5.4	-0.1	19か月連続マイナス
衣料品	-3.1	-1.0	19か月連続マイナス
身のまわり品	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
化粧品	17.1	1.3	26か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	1.6	0.1	2か月連続プラス*
その他雑貨	-5.1	-0.2	2か月ぶりマイナス*
雑貨	7.0	1.2	6か月連続プラス
家具	1.7	0.0	15か月ぶりプラス
家電	-16.0	0.0	6か月連続マイナス
その他家庭用品	-6.9	-0.2	14か月連続マイナス
家庭用品	-5.6	-0.3	17か月連続マイナス
生鮮食品	-2.6	-0.1	38か月連続マイナス*
菓子	3.6	0.2	3か月連続プラス*
惣菜	0.3	0.0	2か月連続プラス*
その他食料品	-0.1	0.0	3か月連続マイナス*
食料品	0.4	0.1	2か月連続プラス
食堂喫茶	-1.4	0.0	2か月ぶりマイナス
サービス	0.4	0.0	3か月ぶりプラス
その他	1.2	0.0	2か月ぶりプラス
商品券	-3.5	-0.1	75か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・橘・長柴 まで
 TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>